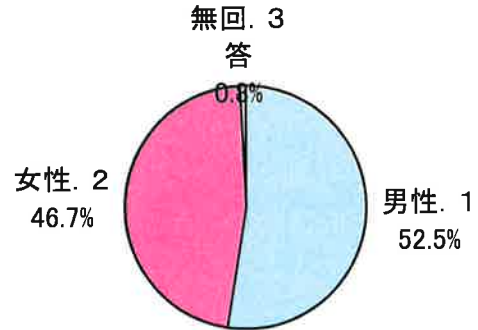


アンケート調査結果 三好市全体

配布数	回収数	回収率
1,000	916	91.6%

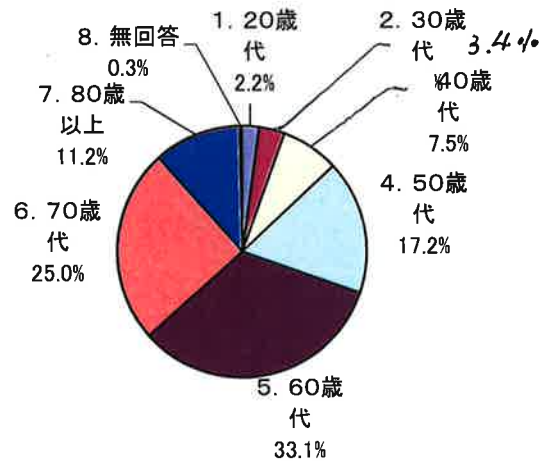
【問 1】 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

	%	回答数
1. 男性	52.5%	481
2. 女性	46.7%	428
3. 無回答	0.8%	7



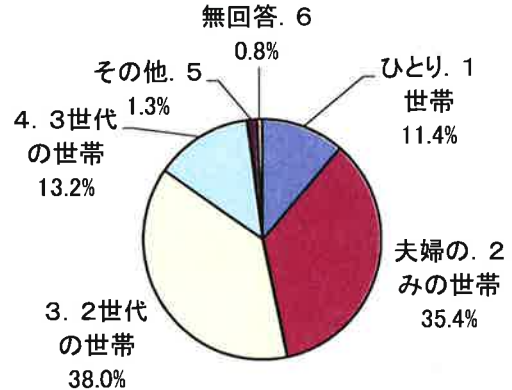
【問 2】 あなたの年齢をお答え下さい。

	%	回答数
1. 20歳代	2.2%	20
2. 30歳代	3.4%	31
3. 40歳代	7.5%	69
4. 50歳代	17.2%	158
5. 60歳代	33.1%	303
6. 70歳代	25.0%	229
7. 80歳以上	11.2%	103
8. 無回答	0.3%	3



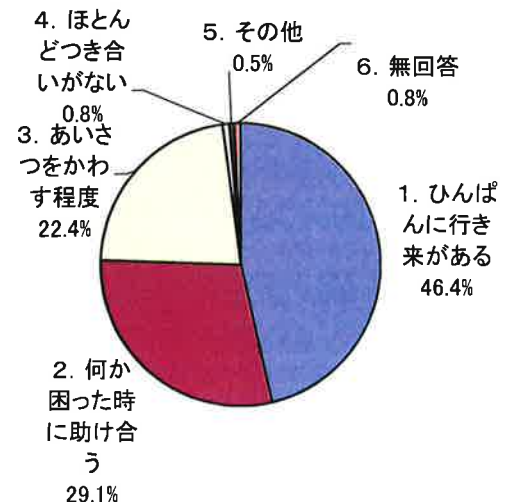
【問 3】 あなたの家族構成をお答えください。(1つだけ○)

	%	回答数
1. ひとり世帯	11.4%	104
2. 夫婦のみの世帯	35.4%	324
3. 2世代の世帯	38.0%	348
4. 3世代の世帯	13.2%	121
5. その他	1.3%	12
6. 無回答	0.8%	7



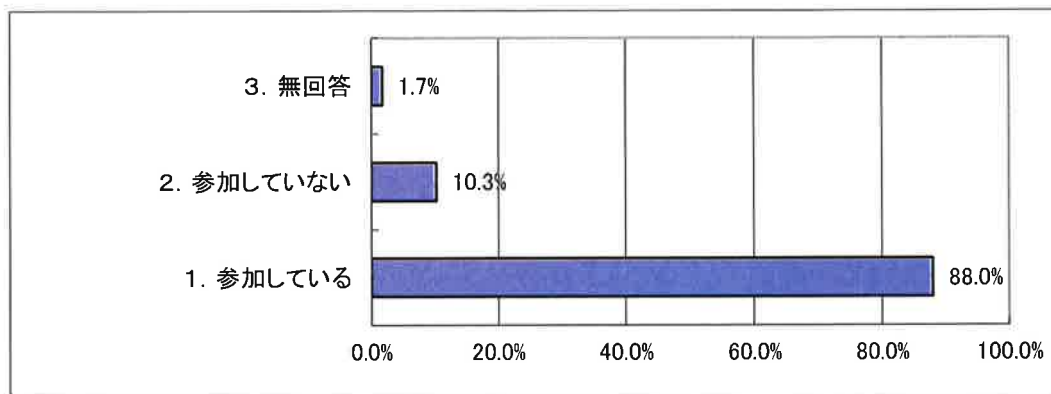
【問 4】 あなたは、ご近所の方とどのようなつきあいをしていますか。(もっとも近いものに1つ○)

	%	回答数
1. ひんぱんに行き来がある	46.4%	425
2. 何か困った時に助け合う	29.1%	267
3. あいさつをかわす程度	22.4%	205
4. ほとんどつき合いがない	0.8%	7
5. その他	0.5%	5
6. 無回答	0.8%	7



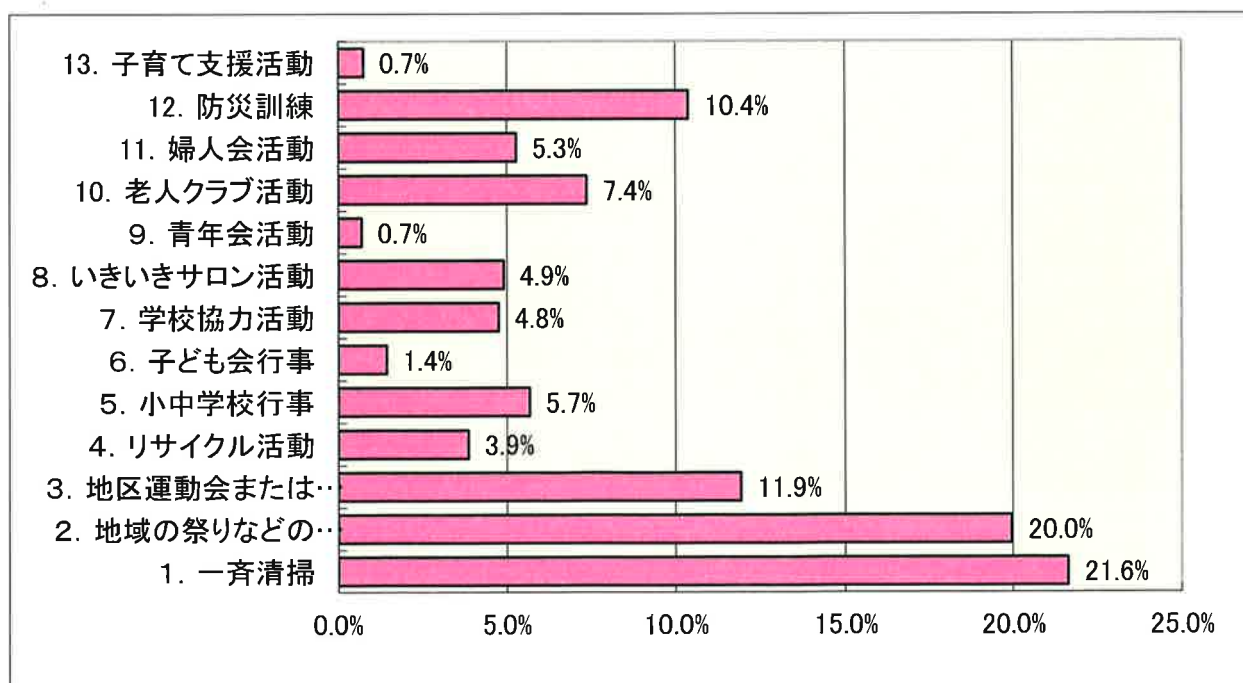
【問 5】 あなたは地域活動に参加していますか。(もっとも近いもの1つに○)

	%	回答数
1. 参加している	88.0%	806
2. 参加していない	10.3%	94
3. 無回答	1.7%	16



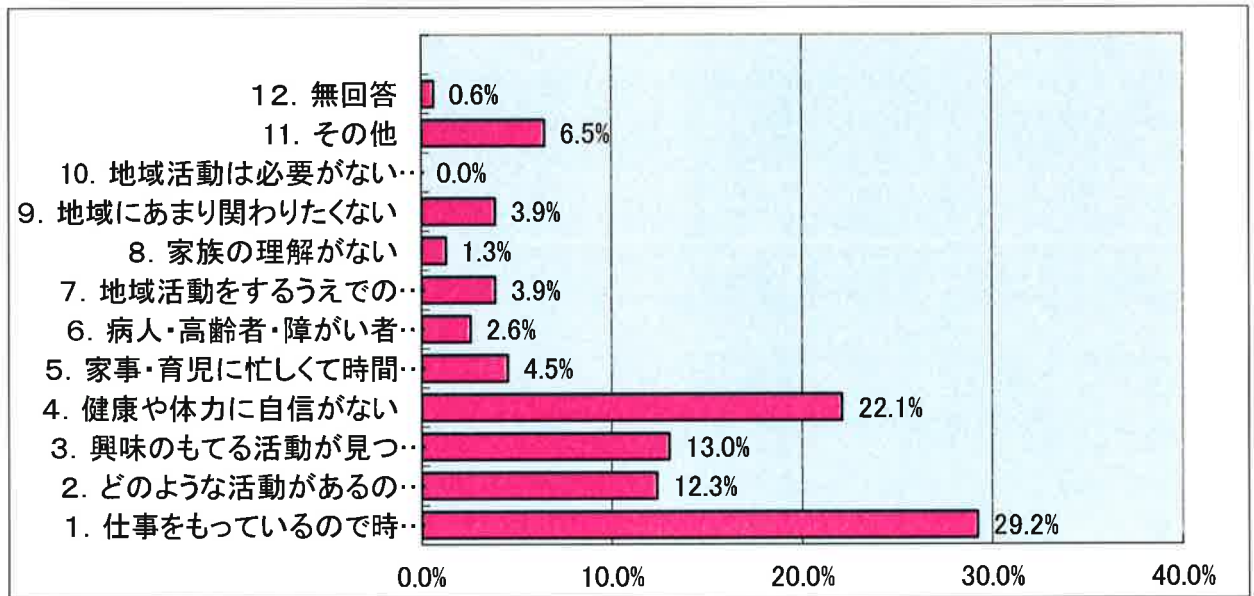
【問 5】-① 参加している地域活動は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	%	回答数
1. 一斉清掃	21.6%	701
2. 地域の祭りなどの行事	20.0%	647
3. 地区運動会またはスポーツ大会	11.9%	386
4. リサイクル活動	3.9%	125
5. 小中学校行事	5.7%	184
6. 子ども会行事	1.4%	46
7. 学校協力活動	4.8%	154
8. いきいきサロン活動	4.9%	159
9. 青年会活動	0.7%	22
10. 老人クラブ活動	7.4%	239
11. 婦人会活動	5.3%	171
12. 防災訓練	10.4%	336
13. 子育て支援活動	0.7%	24
14. その他の活動	1.4%	46
15. 無回答	0.1%	2



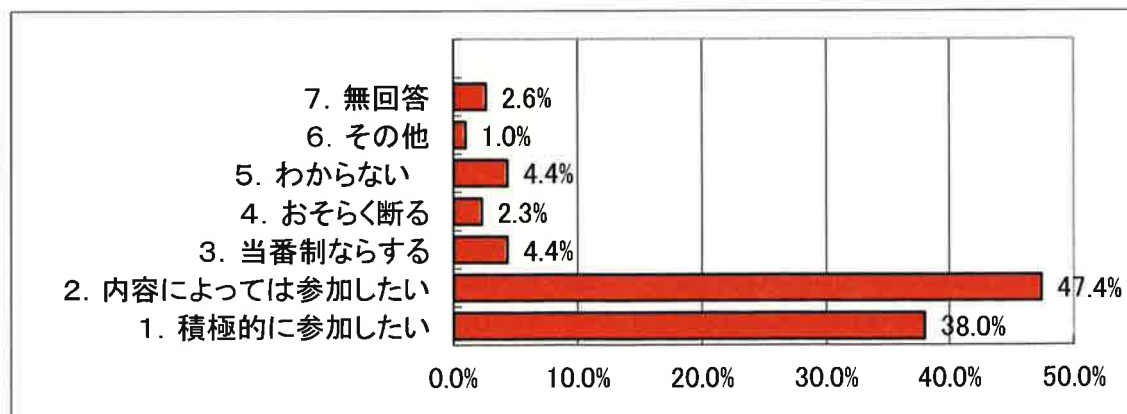
【問5-②】 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	%	回答数
1. 仕事をもっているので時間がない	29.2%	45
2. どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない	12.3%	19
3. 興味のもてる活動が見つからない	13.0%	20
4. 健康や体力に自信がない	22.1%	34
5. 家事・育児に忙しくて時間がない	4.5%	7
6. 病人・高齢者・障がい者の介護などで時間がない	2.6%	4
7. 地域活動をするうえでの経済的負担が大きい	3.9%	6
8. 家族の理解がない	1.3%	2
9. 地域にあまり関わりたくない	3.9%	6
10. 地域活動は必要がないと思う	0.0%	0
11. その他	6.5%	10
12. 無回答	0.6%	1



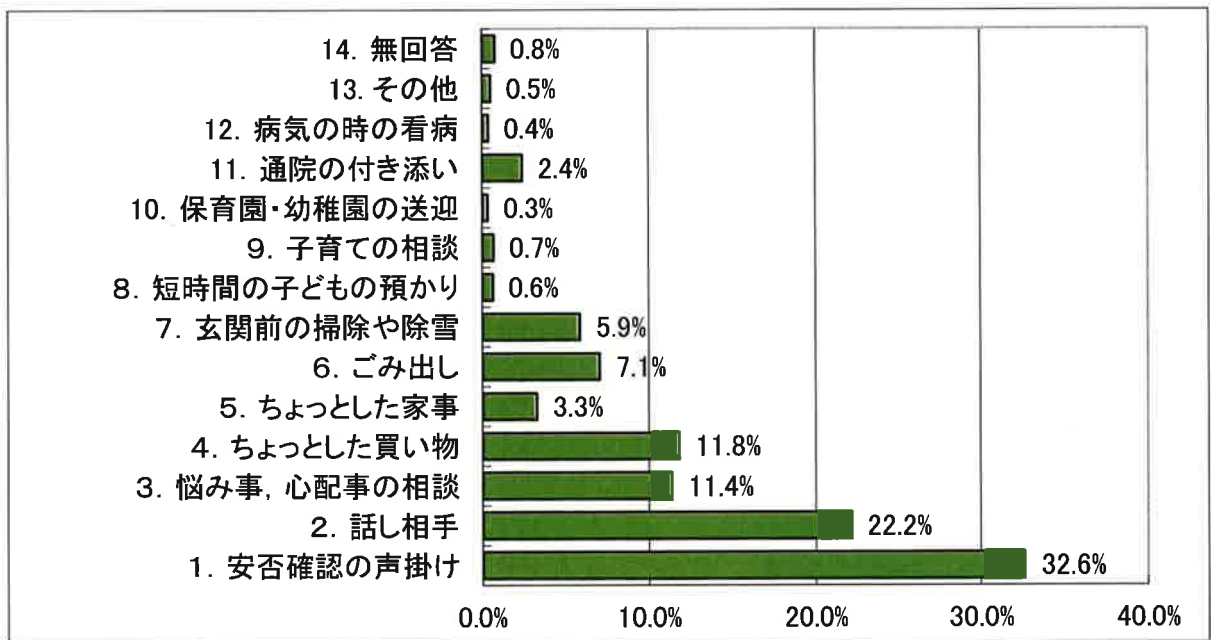
【問6】 今後、地域活動への参加の依頼があった場合あなたはどうしますか。(もっとも近いものに1つに○)

	%	回答数
1. 積極的に参加したい	38.0%	348
2. 内容によっては参加したい	47.4%	434
3. 当番制ならする	4.4%	40
4. おそらく断る	2.3%	21
5. わからない	4.4%	40
6. その他	1.0%	9
7. 無回答	2.6%	24

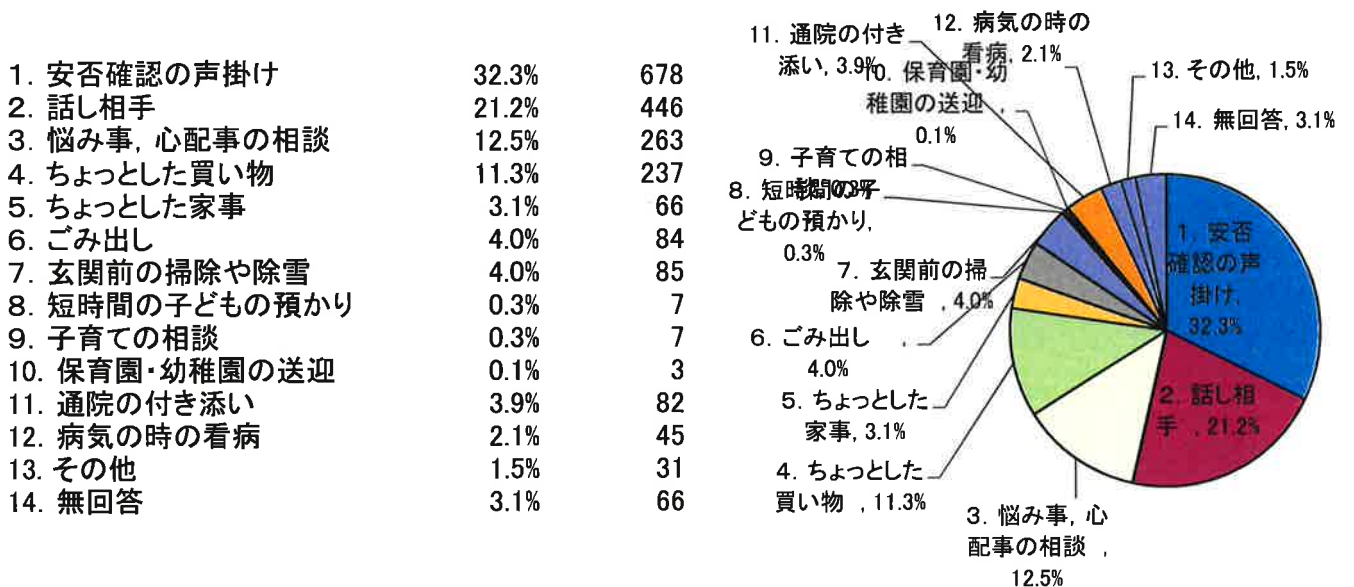


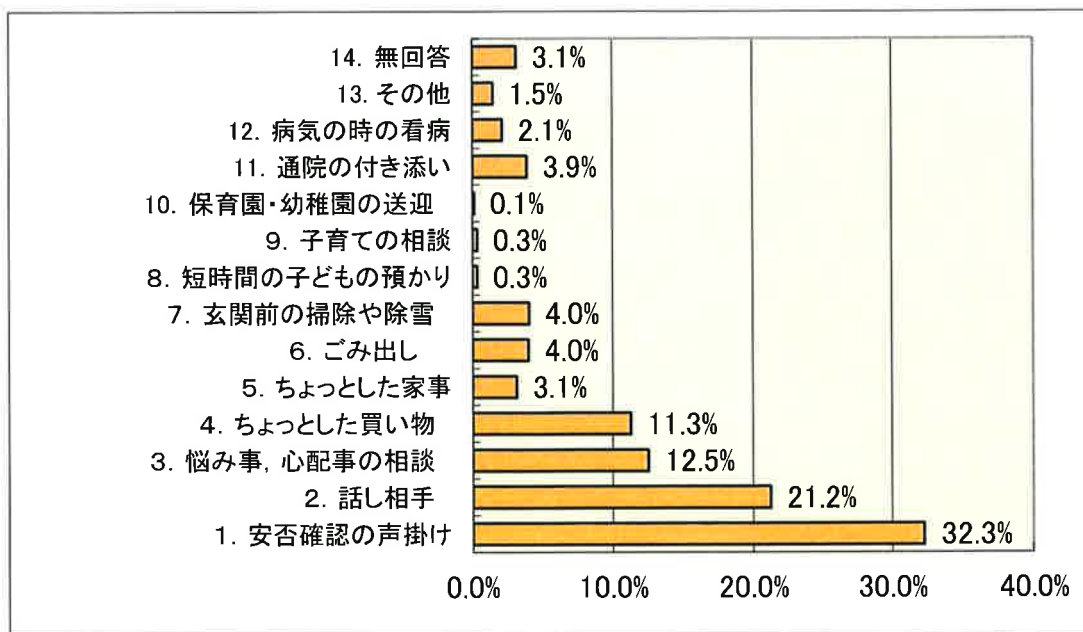
【問7】 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができると思うことは何ですか。(3つまで○)

	%	回答数
1. 安否確認の声掛け	32.6%	753
2. 話し相手	22.2%	513
3. 悩み事, 心配事の相談	11.4%	263
4. ちょっとした買い物	11.8%	273
5. ちょっとした家事	3.3%	76
6. ごみ出し	7.1%	163
7. 玄関前の掃除や除雪	5.9%	136
8. 短時間の子ども預かり	0.6%	15
9. 子育ての相談	0.7%	16
10. 保育園・幼稚園の送迎	0.3%	8
11. 通院の付き添い	2.4%	56
12. 病気の時の看病	0.4%	9
13. その他	0.5%	12
14. 無回答	0.8%	18



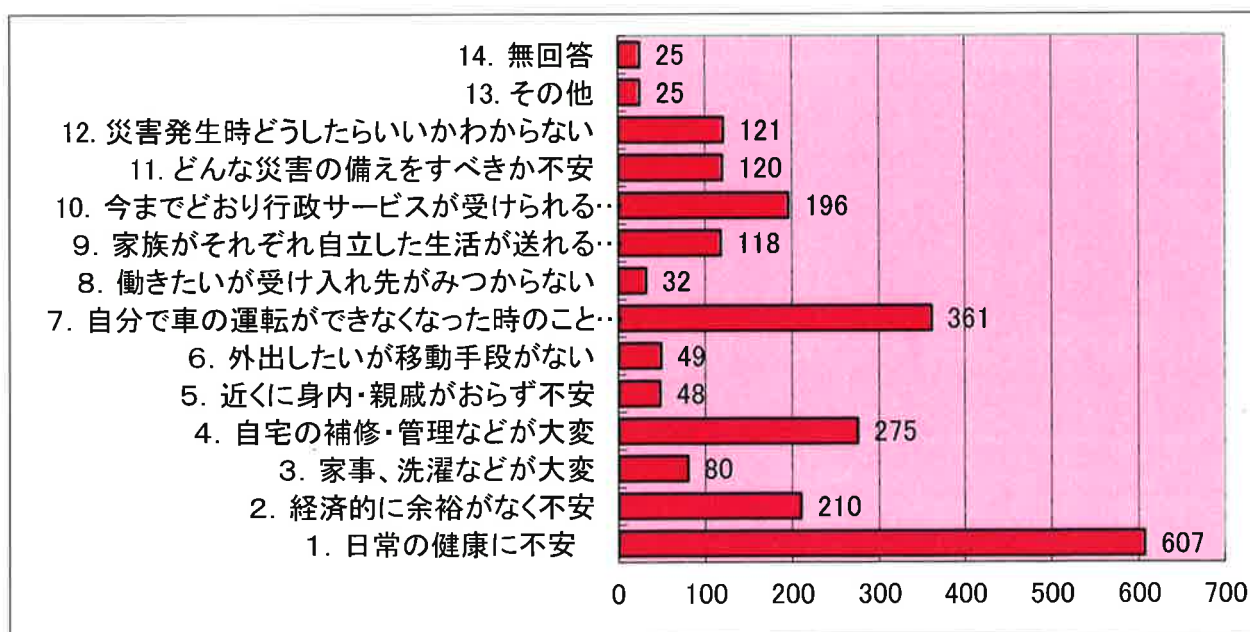
【問8】 あなたの地域で、隣近所の人による手助けが必要だと思うことは何ですか。(3つまで○)





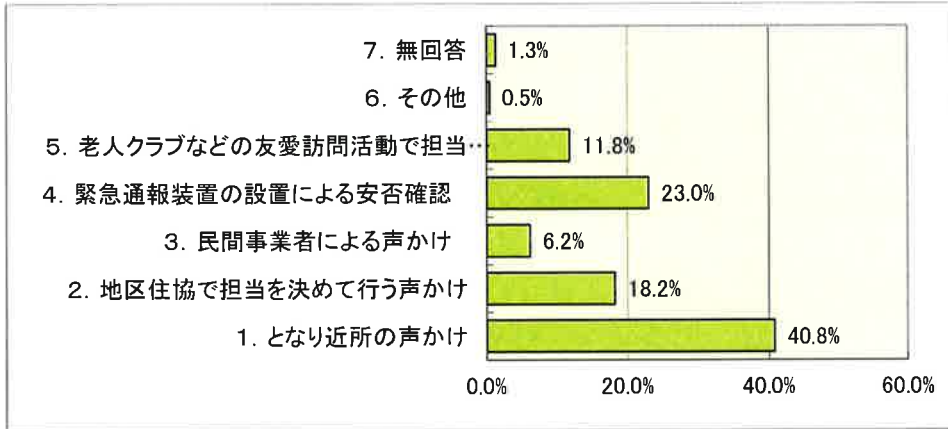
【問 9】 今後(5年～10年後)どのようなことが不安になると思いますか。(3つまで○)

	%	回答数
1. 日常の健康に不安	28.9%	607
2. 経済的に余裕がなく不安	10.0%	210
3. 家事、洗濯などが大変	3.8%	80
4. 自宅の補修・管理などが大変	13.1%	275
5. 近くに身内・親戚がおらず不安	2.3%	48
6. 外出したいが移動手段がない	2.3%	49
7. 自分で車の運転ができなくなった時のことを考えると不安	17.2%	361
8. 働きたいが受け入れ先が見つからない	1.5%	32
9. 家族がそれぞれ自立した生活が送れるか不安	5.6%	118
10. 今までどおり行政サービスが受けられるかが不安	9.3%	196
11. どんな災害の備えをすべきか不安	5.7%	120
12. 災害発生時どうしたらいいかわからない	5.8%	121
13. その他	1.2%	25
14. 無回答	1.2%	25



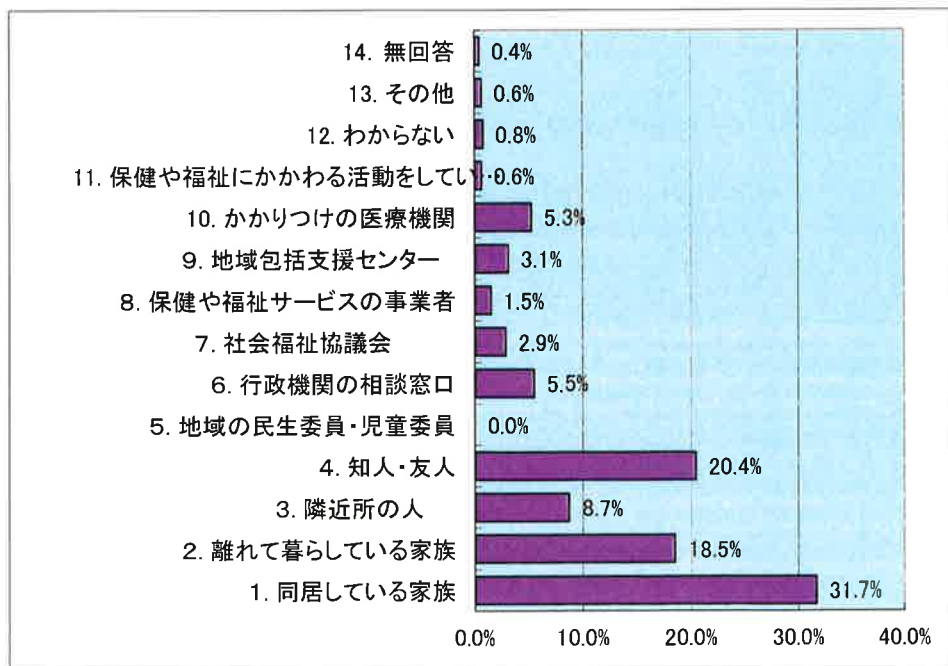
【問10】 高齢者を対象とした、さまざまな日常の安否確認がなされていますが、どんな日常的な安否確認対策が有効、重要だと思いますか。（3つまで○）

	%	回答数
1. となり近所の声かけ	40.8%	795
2. 地区住協で担当を決めて行う声かけ	18.2%	354
3. 民間事業者による声かけ	6.2%	121
4. 緊急通報装置の設置による安否確認	23.0%	448
5. 老人クラブなどの友愛訪問活動で担当を決めて行う声かけ	11.8%	230
6. その他	0.5%	9
7. 無回答	1.3%	26

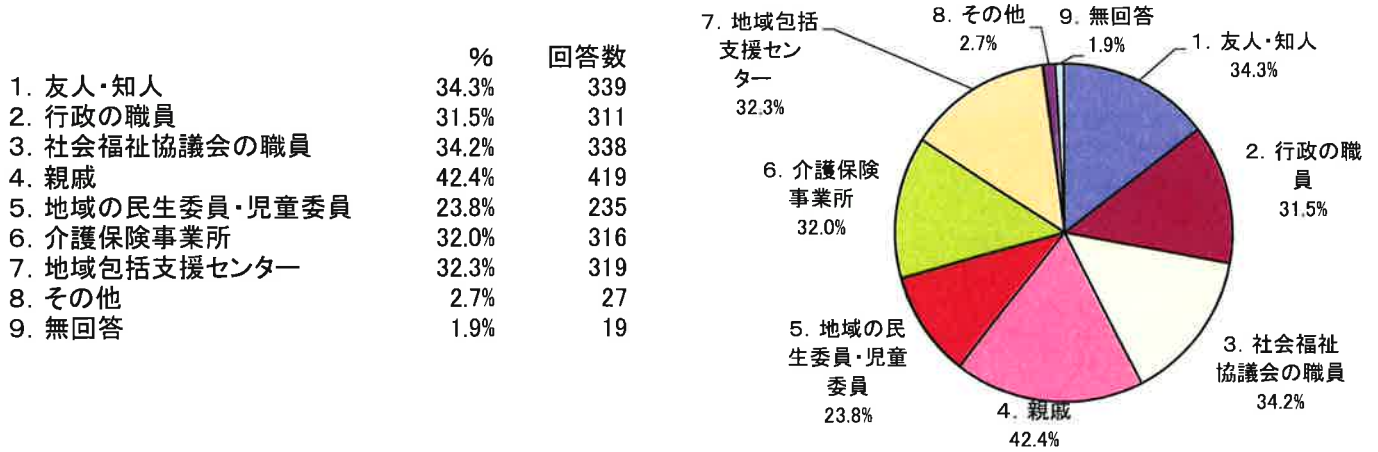


【問11】 あなたが、悩みや心配ごとを相談する場合、主にどこに相談しますか。（3つまで○）

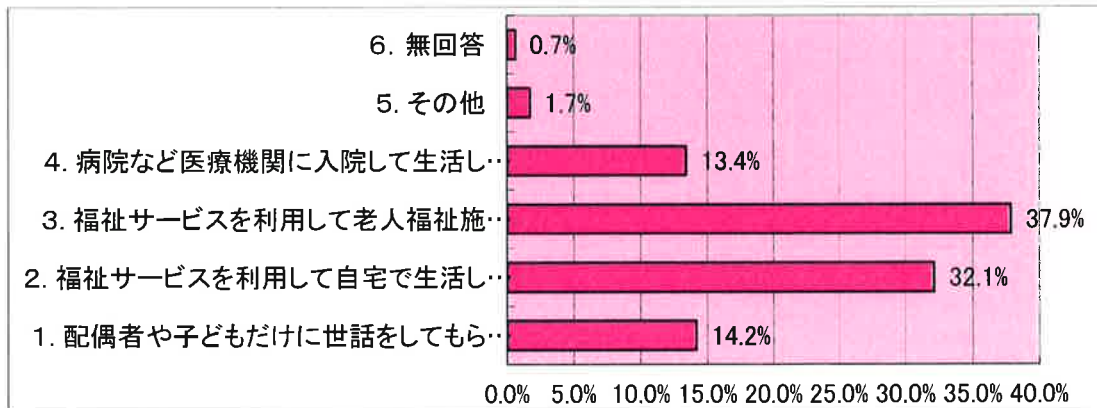
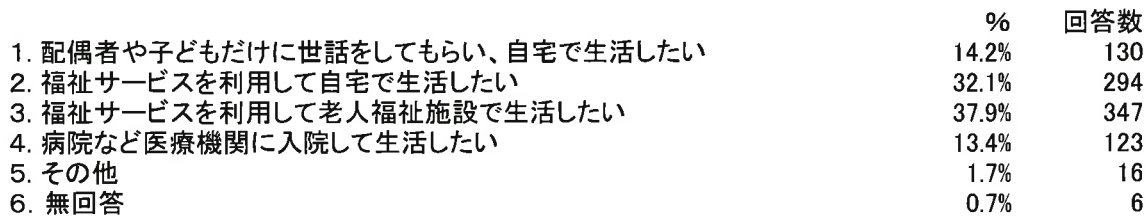
	%	回答数
1. 同居している家族	31.7%	663
2. 離れて暮らしている家族	18.5%	387
3. 隣近所の人	8.7%	182
4. 知人・友人	20.4%	427
5. 地域の民生委員・児童委員	0.0%	0
6. 行政機関の相談窓口	5.5%	115
7. 社会福祉協議会	2.9%	60
8. 保健や福祉サービスの事業者	1.5%	31
9. 地域包括支援センター	3.1%	65
10. かかりつけの医療機関	5.3%	110
11. 保健や福祉にかかわる活動をしているNPOやボランティア団体	0.6%	13
12. わからない	0.8%	16
13. その他	0.6%	13
14. 無回答	0.4%	9



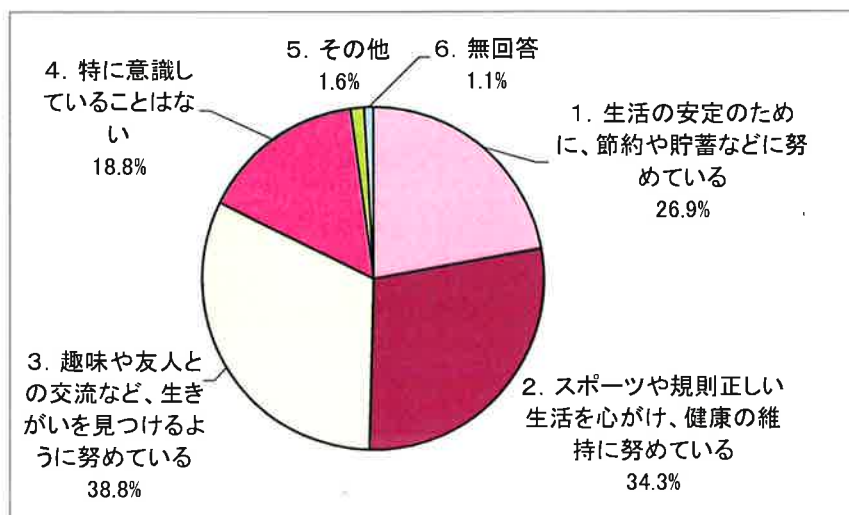
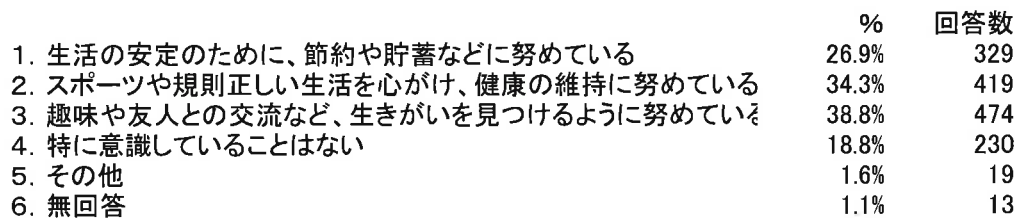
【問12】 もし、あなた、またはご家族に介護が必要となった時、だれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



【問13】 あなたが年をとって、もし、寝たきりになったとしたら、どのように生活したいですか。(1つに○)

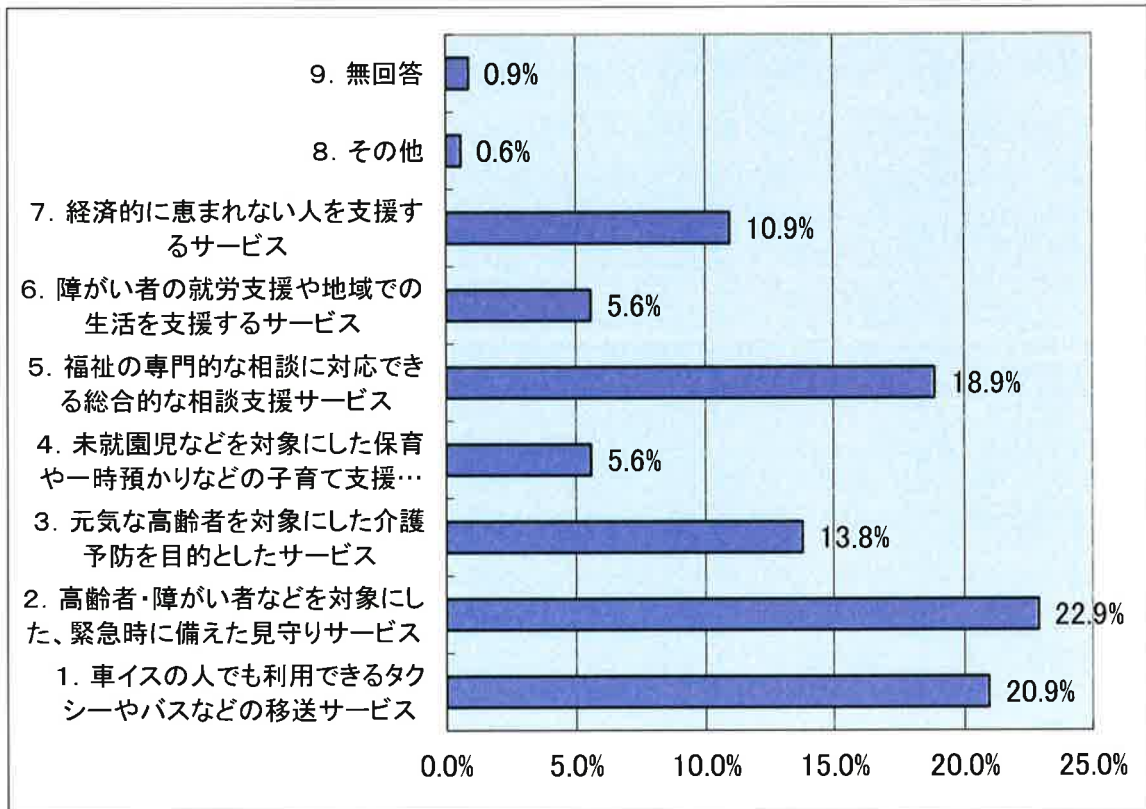


【問14】 あなたは、老後の備えとして行っていることが、何かありますか。(該当するすべてに○)



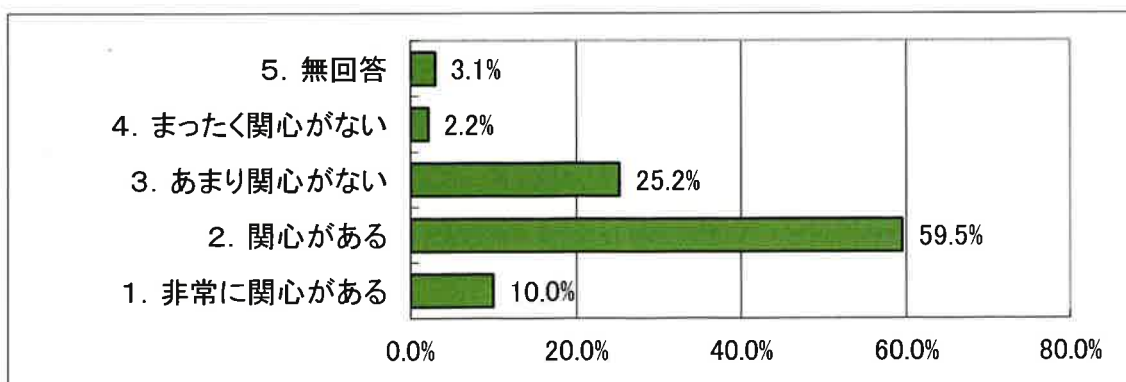
【問15】 これから必要になると思われる具体的な福祉サービスを次の中から選んでください。

	%	回答数
1. 車イスの人でも利用できるタクシーやバスなどの移送サービス	20.9%	463
2. 高齢者・障がい者などを対象にした、緊急時に備えた見守りサービス	22.9%	506
3. 元気な高齢者を対象にした介護予防を目的としたサービス	13.8%	305
4. 未就園児などを対象にした保育や一時預かりなどの子育て支援サービス	5.6%	123
5. 福祉の専門的な相談に対応できる総合的な相談支援サービス	18.9%	417
6. 障がい者の就労支援や地域での生活を支援するサービス	5.6%	123
7. 経済的に恵まれない人を支援するサービス	10.9%	242
8. その他	0.6%	13
9. 無回答	0.9%	20



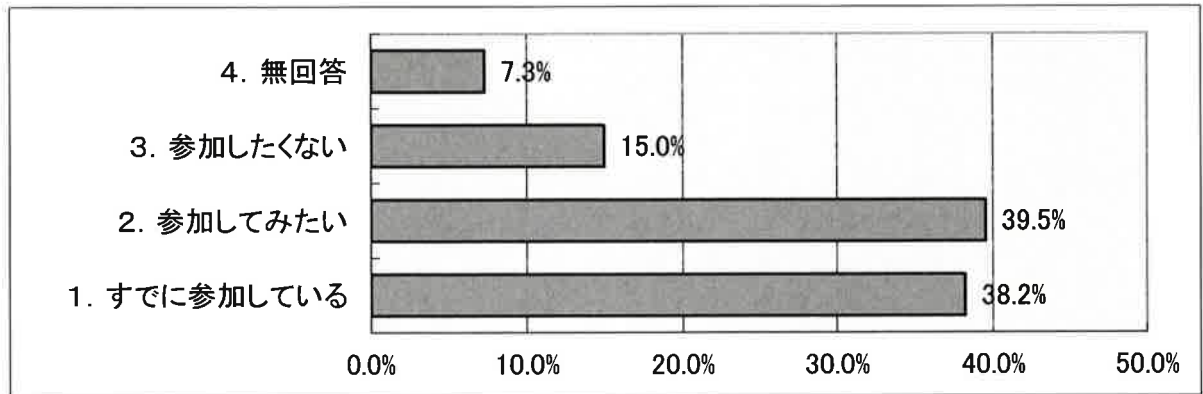
【問16】 あなたはボランティア活動に関心がありますか。(1つに○)

	%	回答数
1. 非常に関心がある	10.0%	92
2. 関心がある	59.5%	545
3. あまり関心がない	25.2%	231
4. まったく関心がない	2.2%	20
5. 無回答	3.1%	28



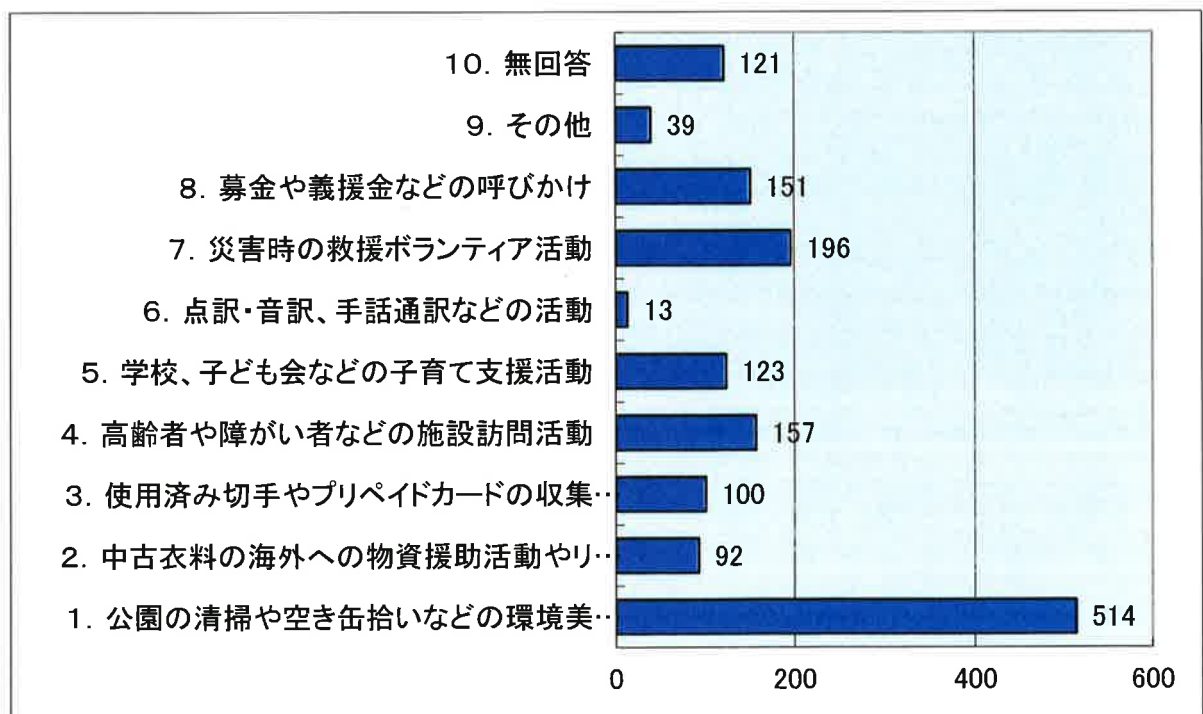
【問17】 ボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

	%	回答数
1. すでに参加している	38.2%	350
2. 参加してみたい	39.5%	362
3. 参加したくない	15.0%	137
4. 無回答	7.3%	67



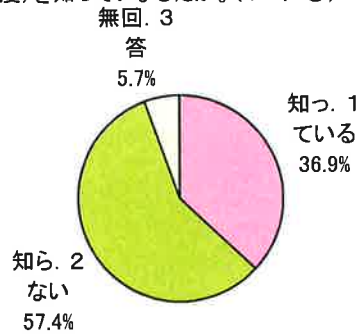
【問18】 あなたがボランティア活動を行うとしたら、または、行っている活動はどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

	%	回答数
1. 公園の清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動	34.1%	514
2. 中古衣料の海外への物資援助活動やリサイクル活動	6.1%	92
3. 使用済み切手やプリペイドカードの収集活動	6.6%	100
4. 高齢者や障がい者などの施設訪問活動	10.4%	157
5. 学校、子ども会などの子育て支援活動	8.2%	123
6. 点訳・音訳、手話通訳などの活動	0.9%	13
7. 災害時の救援ボランティア活動	13.0%	196
8. 募金や義援金などの呼びかけ	10.0%	151
9. その他	2.6%	39
10. 無回答	8.0%	121



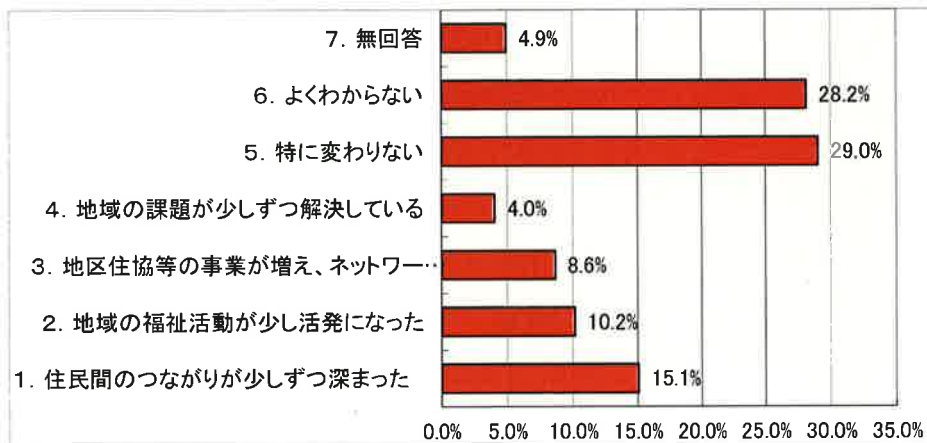
【問19】 地域福祉活動計画（第一次計画期間：H24年度～H26年度）を知っていましたか。（1つに○）

	%	回答数
1. 知っている	36.9%	338
2. 知らない	57.4%	526
3. 無回答	5.7%	52



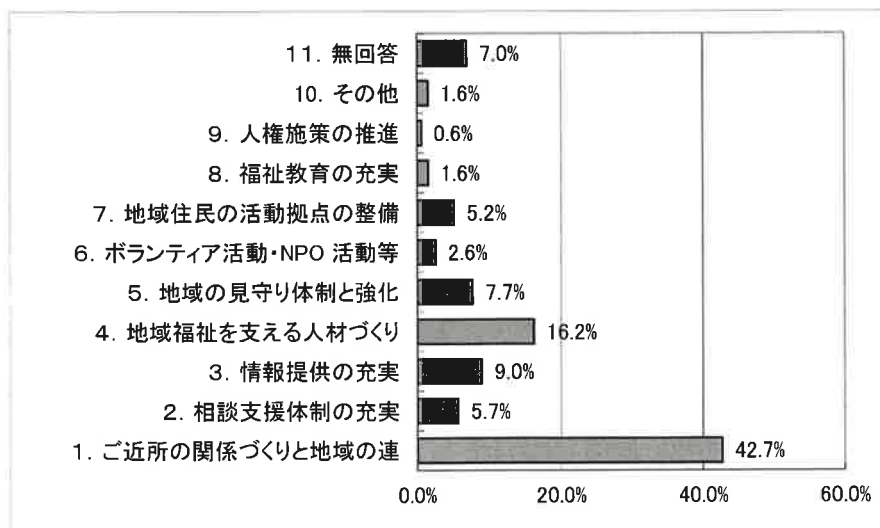
【問20】 地域福祉活動計画によって地域の活動や組織体制が変わったと思いますか。（1つに○）

	%	回答数
1. 住民間のつながりが少しずつ深まった	15.1%	138
2. 地域の福祉活動が少し活発になった	10.2%	93
3. 地区住協等の事業が増え、ネットワークが広がった	8.6%	79
4. 地域の課題が少しずつ解決している	4.0%	37
5. 特に変わらない	29.0%	266
6. よくわからない	28.2%	258
7. 無回答	4.9%	45



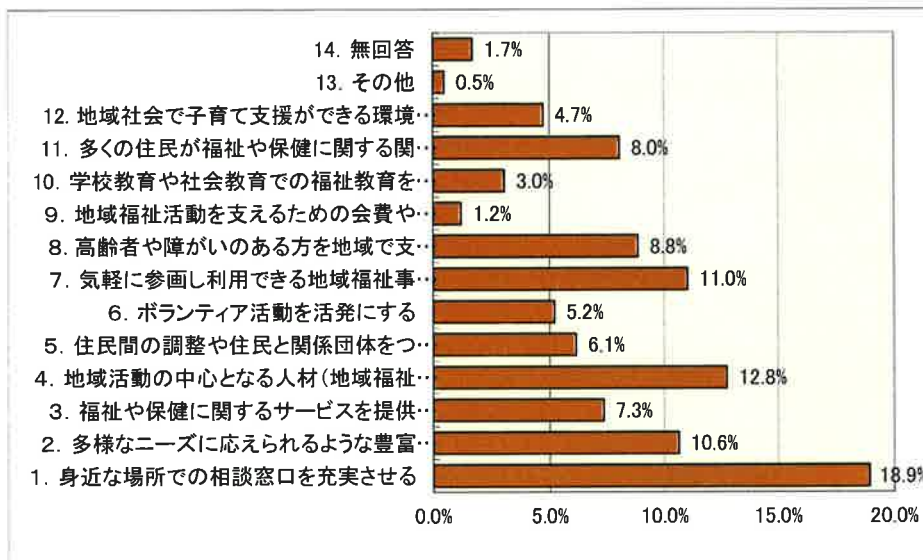
【問21】 地域福祉活動計画を推進するにあたって重要なことは何だと思いますか。（1つに○）

	%	回答数
1. ご近所の関係づくりと地域の連	42.7%	409
2. 相談支援体制の充実	5.7%	55
3. 情報提供の充実	9.0%	86
4. 地域福祉を支える人材づくり	16.2%	155
5. 地域の見守り体制と強化	7.7%	74
6. ボランティア活動・NPO 活動等	2.6%	25
7. 地域住民の活動拠点の整備	5.2%	50
8. 福祉教育の充実	1.6%	15
9. 人権施策の推進	0.6%	6
10. その他	1.6%	15
11. 無回答	7.0%	67



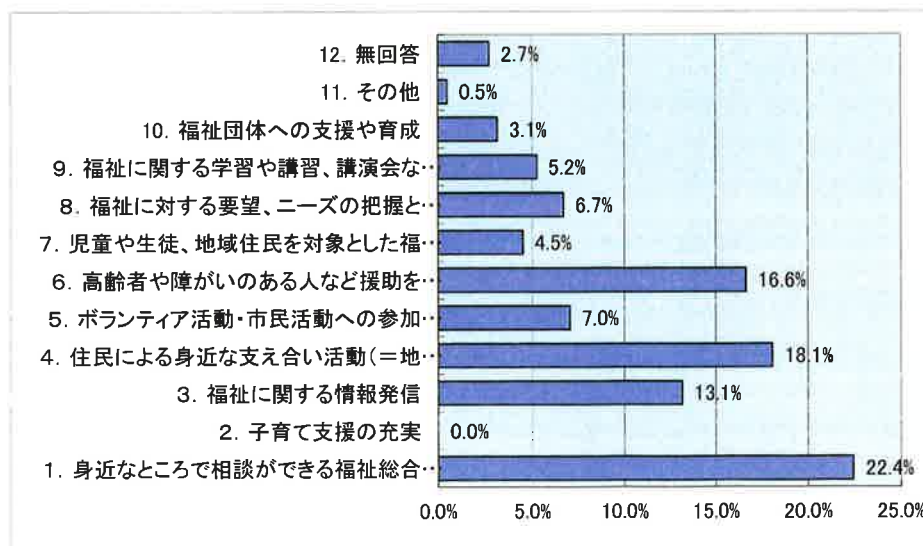
【問22】 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで○)

	%	回答数
1. 身近な場所での相談窓口を充実させる	18.9%	426
2. 多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する	10.6%	239
3. 福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす	7.3%	165
4. 地域活動の中心となる人材(地域福祉のリーダー)を育てる	12.8%	287
5. 住民間の調整や住民と関係団体をつなぐ人材(地域福祉コーディネーター)を育てる	6.1%	138
6. ボランティア活動を活発にする	5.2%	117
7. 気軽に参画し利用できる地域福祉事業を創出する	11.0%	248
8. 高齢者や障がいのある方を地域で支える取り組みを充実させる	8.8%	199
9. 地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る	1.2%	27
10. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実させる	3.0%	68
11. 多くの住民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う	8.0%	181
12. 地域社会で子育て支援ができる環境を充実させる	4.7%	106
13. その他	0.5%	11
14. 無回答	1.7%	38



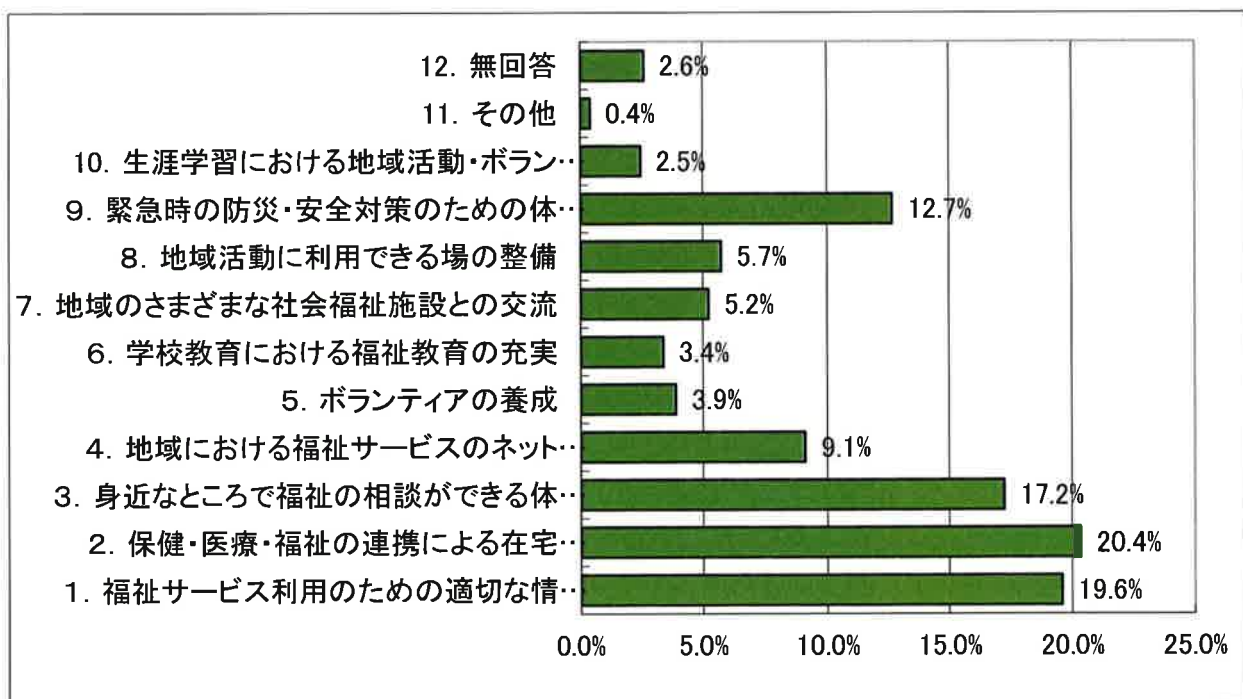
【問23】 社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことは何ですか。
(3つまで○)

	%	回答数
1. 身近なところで相談ができる福祉総合相談の充実	22.4%	466
2. 子育て支援の充実	0.0%	0
3. 福祉に関する情報発信	13.1%	273
4. 住民による身近な支え合い活動(=地域福祉活動)	18.1%	376
5. ボランティア活動・市民活動への参加促進と支援	7.0%	146
6. 高齢者や障がいのある人など援助を必要とする方々への支援	16.6%	346
7. 児童や生徒、地域住民を対象とした福祉教育の推進	4.5%	93
8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施	6.7%	139
9. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催	5.2%	109
10. 福祉団体への支援や育成	3.1%	65
11. その他	0.5%	10
12. 無回答	2.7%	56



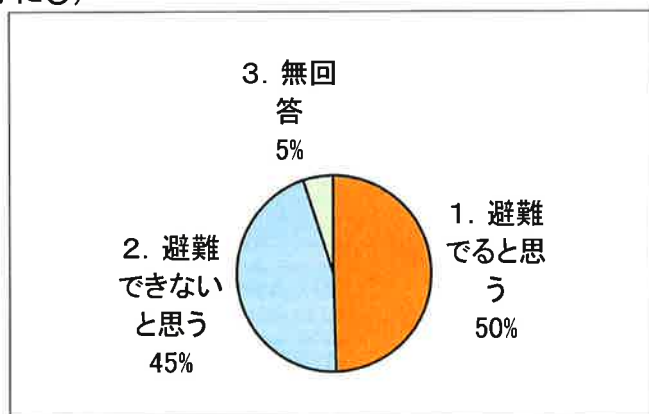
【問24】 社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことは何ですか。
(3つまで○)

	%	回答数
1. 福祉サービス利用のための適切な情報を得る体制づくり	19.6%	428
2. 保健・医療・福祉の連携による在宅サービスの充実	20.4%	445
3. 身近なところで福祉の相談ができる体制の充実	17.2%	376
4. 地域における福祉サービスのネットワーク化	9.1%	199
5. ボランティアの養成	3.9%	85
6. 学校教育における福祉教育の充実	3.4%	74
7. 地域のさまざまな社会福祉施設との交流	5.2%	114
8. 地域活動に利用できる場の整備	5.7%	125
9. 緊急時の防災・安全対策のための体制づくり	12.7%	277
10. 生涯学習における地域活動・ボランティアによる自己実現	2.5%	54
11. その他	0.4%	9
12. 無回答	2.6%	57



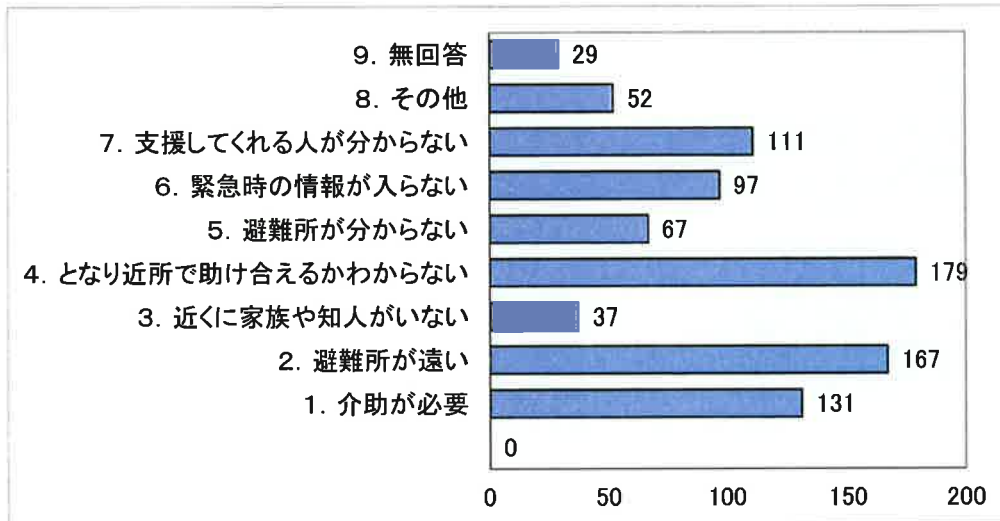
【問25】 あなたは、もし災害などの緊急事態が発生した場合、自分や家族、地域の皆さんが適切に避難できると思いますか。(どちらかに○)

	%	回答数
1. 避難できると思う	49.6%	454
2. 避難できないと思う	45.4%	416
3. 無回答	5.0%	46



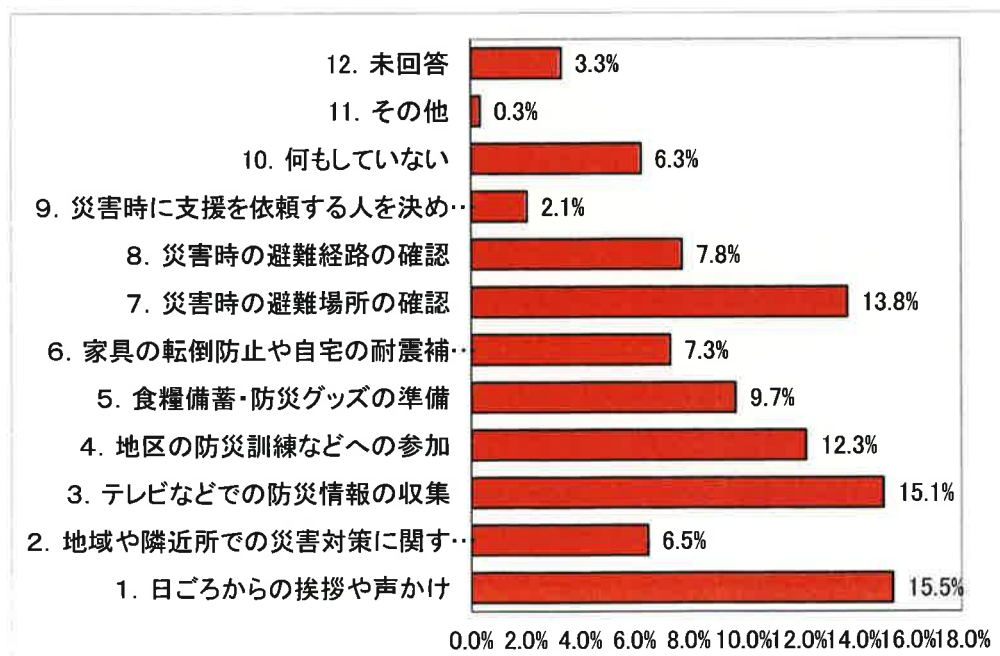
【問25-①】 避難できない理由は何ですか。(3つまで○)

	%	回答数
1. 介助が必要	14.3%	131
2. 避難所が遠い	18.2%	167
3. 近くに家族や知人がいない	4.0%	37
4. とおり近所で助け合えるかわからない	19.5%	179
5. 避難所が分からない	7.3%	67
6. 緊急時の情報が入らない	10.6%	97
7. 支援してくれる人が分からない	12.1%	111
8. その他	5.7%	52
9. 無回答	3.2%	29



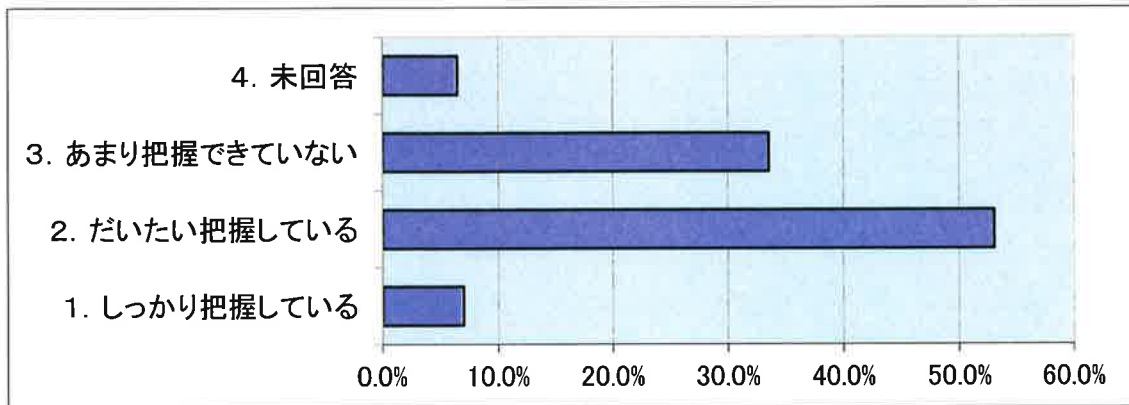
【問26】 災害の発生に備え、日ごろ話し合いや準備などを行っていますか。(該当するすべてに○)

	%	回答数
1. 日ごろからの挨拶や声かけ	15.5%	316
2. 地域や隣近所での災害対策に関する意見交換	6.5%	133
3. テレビなどでの防災情報の収集	15.1%	309
4. 地区の防災訓練などへの参加	12.3%	251
5. 食糧備蓄・防災グッズの準備	9.7%	199
6. 家具の転倒防止や自宅の耐震補強の実施	7.3%	150
7. 災害時の避難場所の確認	13.8%	282
8. 災害時の避難経路の確認	7.8%	159
9. 災害時に支援を依頼する人を決めいている	2.1%	42
10. 何もしていない	6.3%	128
11. その他	0.3%	7
12. 未回答	3.3%	68



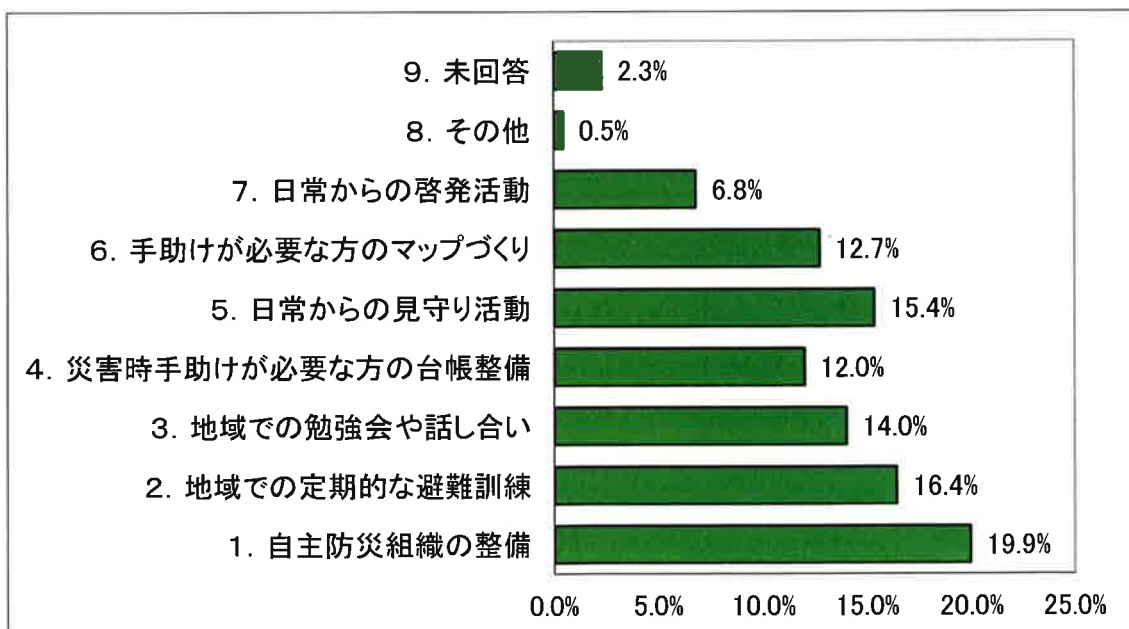
【問27】 あなたの地域の高齢者のうち、災害発生時、避難場所への移動に援助が必要な方がどのくらいいるか把握していますか？（1つだけ○）

	%	回答数
1. しっかり把握している	7.0%	64
2. だいたい把握している	53.1%	486
3. あまり把握できていない	33.5%	307
4. 未回答	6.4%	59



【問28】 あなたは災害時に住民が支えあう地域づくりに何が必要だと思いますか。（3つまで○）

	%	回答数
1. 自主防災組織の整備	19.9%	431
2. 地域での定期的な避難訓練	16.4%	355
3. 地域での勉強会や話し合い	14.0%	303
4. 災害時手助けが必要な方の台帳整備	12.0%	259
5. 日常からの見守り活動	15.4%	332
6. 手助けが必要な方のマップづくり	12.7%	275
7. 日常からの啓発活動	6.8%	147
8. その他	0.5%	10
9. 未回答	2.3%	50



【自由記入欄】

【問 4】 あなたは、ご近所の方とどのようなつきあいをしていますか。

- ・遠からず、近からず。
- ・時間があれば世間話等をかわす程度。
- ・ほとんどの家庭の状況を把握できている。
- ・仕事上近所の方と頻繁に話している。
- ・あいさつして少し話す程度。
- ・用のある時のみ。

【問 5】 あなたは地域活動に参加していますか。

- ・シャドーアート&プリザーブド教室(講師)、日本舞踊習い各施設訪問(鳴門方面まで)。

【問 5-①】 参加している地域活動は何ですか。

- ・カラオケ会(サロン)。
- ・会の行事を盛り上げる為の芸能活動。
- ・グループでの米作り活動。
- ・ボランティア活動。
- ・地域福祉の会。
- ・幼稚園の行事。
- ・特産物生産活動
- ・地域の神社の除草活動、客土入れ。
- ・防犯。
- ・三好警察管内の安全を守る会。
- ・自治会・町内会行事。
- ・消防団員。
- ・消防団活動。
- ・慰問活動。
- ・県や市内外を巻き込んだイベント。
- ・草刈り。
- ・近所の葬式の手伝い、自治会活動。
- ・花を作り地域の方にさしあげる。
- ・寺の奉賀界。
- ・お念仏(毎月 20 日)。
- ・地区住協。
- ・小学校の清掃。
- ・近所の人のあるゆる面での手助けなど(仕事、買い物、書類面)。
- ・道路カン拾い、草刈り。

【問 5-②】 参加していない理由は何ですか。

- ・高齢者の為(90 歳)。
- ・大勢集まる所へ出たくない。
- ・親が参加しているため。
- ・高齢のためなにもできない。
- ・小中学生見守り活動。
- ・自分自身体調が悪い。
- ・限られた時間で自分のする事で手がいっぱい。余裕がない。
- ・親が参加しているから。

【問 6】 今後、地域活動への参加の依頼があった場合あなたはどうしますか。

- ・仕事に重ならない場合は参加する。

- ・92歳で自分のことしかできない。
- ・都合がつけば参加します。
- ・事前に日程が分かっていたら参加する。
- ・参加できる時はする。
- ・身体が弱っているのが無理。
- ・したいのだけど出来ない。

【問7】 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができると言うことは何ですか。

- ・現在、困っている世帯なし。
- ・行政への照(回)会等。

【問8】 あなたの地域で、隣近所の人による手助けが必要だと思うことは何ですか。

- ・草刈り。
- ・草刈りなどの手伝い。
- ・高齢者が多いので危険箇所・重労働の作業等の援助。いつまでも若いと思って無理をする。
- ・出来る事なら何でも手助けする。
- ・今のところはない。
- ・困っている世帯なし。
- ・今は必要がない。
- ・法律相談。
- ・家付近の清掃等。
- ・現在はない。
- ・病気になった時の介護。
- ・今のところ特にないと思う。
- ・結婚相手の紹介。
- ・できない。
- ・地域の共同作業。
- ・山林の草刈り。

【問9】 今後(5年～10年後)どのようなことが不安になるとお思いますか。

- ・地域の人口がどんどん減少する。自分のまわりの人がいなくなることが目に見えている。集落の消滅感あり。
- ・過疎の進行。
- ・地域活動の不活発化、在り方等。
- ・先が見えない。
- ・人口の減少。
- ・市立三野病院の診療科を充実してほしい。
- ・税金の負担増。
- ・集落の機能が崩壊していく。
- ・遠くにいる実家の親の世話。
- ・先のことも考えて体調管理を含め自分の家族の在り方を考えていかないといけない。
- ・自治会員の減少。
- ・両親の健康。
- ・兄弟。
- ・助け合う人達の減少。
- ・現在は二人ですが一人になると買物、病院が心配。現在は薬も6～7年飲まなくてまだ皆さんの力になっているが子供達は遠いし心配です。
- ・現在は薬も6～7年飲まなくてまだ皆さんの力になっているが子供達は遠いし心配です。

【問10】 高齢者を対象とした、さまざまな日常の安否確認がなされていますが、どんな日常的な安否確認対策が有効、重要だと思いますか。

- ・電話による声かけ。

- ・本人の申し出があれば対応。
- ・行政サービスによる職員の訪問サービスの励行。
- ・西井川長寿クラブではすでに実施している。
- ・家族で行う。
- ・地域住民と行政との緊密な連携による活動。
- ・郵便屋さん。

【問 11】 あなたが、悩みや心配ごとを相談する場合、主にどこに相談しますか。

- ・自分の子供。
- ・近くの親戚。
- ・会社の同僚。
- ・それぞれの専門家。
- ・悩み事等心配事などは自分で解決していくより他になし。個々の悩みは所詮他人にはわからない。

【問 12】 もし、あなた、またはご家族に介護が必要となった時、だれに相談しますか。

- ・離れて暮らす家族。
- ・自分。
- ・家族(子供達や孫)。
- ・病院。
- ・家族。
- ・子ども。

【問 13】 あなたが年をとって、もし、寝たきりになったとしたら、どのように生活したいですか。

- ・内臓が元気な内に、臓器提供したいので、早く死ぬ。
- ・生存を望まない。
- ・人の迷惑になる前にピンピンコロリと逝けばいい。
- ・延命治療をしてまでの生活はしたくない。
- ・現時点では不明。
- ・その時の状態による。
- ・出来れば自宅で生活したいが家族に負担がかかる。(医療機関で)

【問 14】 あなたは、老後の備えとして行っていることが、何かありますか。

- ・知識をため込んでいる。
- ・節約や貯蓄に努力しているつもりであるが、少ない年金生活者としては本当に大変。
- ・食は大切なので3度なるべく手づくり。
- ・食生活と運動。そして明るく生きること。

【問 15】 これから必要と思われる具体的な福祉サービスを次の中から選んでください。

- ・買い物にバス等を利用し移送するサービス。
- ・行政が地域住民に丸投げしないで、地域別職員の採用を考えること。
- ・職員のボランティア活動を望む。
- ・福祉サービスを受けるには、人、金等公的な金がかかる。
- ・学校などを利用して地域みんなで見守る事が大事。
- ・買い物援助サービス。
- ・お買物する店があれば良いと思います。

【問 17】 ボランティア活動に参加したいと思いませんか。

- ・平成 7 年に両膝関節機能全廃の為ボランティアは不可能です。

【問 18】 あなたがボランティア活動を行うとしたら、または、行っている活動はどのような活動ですか。

- ・市道・家回りの草刈り。

- ・赤十字 年間 5,000 円。2.「中古衣料の海外への物資援助活動やリサイクル活動」について送り先が知りたい。
- ・福祉施設の食事作り。
- ・地域の活動。
- ・河川の草刈りなど活動中。
- ・地域福祉活動。
- ・消防団。
- ・地域の神社・自院の清掃。
- ・道路・神社・寺院などの清掃。
- ・消防団員。
- ・スポーツ指導。
- ・1人暮らし高齢者に月 1 回だが弁当を作り配達している。
- ・神社の清掃・高齢者の見回り。
- ・地域活性化のためのボランティアガイド。
- ・自分でできることをしてボランティア活動に協力したいと思います。
- ・地域の清掃。
- ・困りごと相談。
- ・地区住協の活動。
- ・自治会役員。
- ・町道、林道等の清掃作業他。
- ・地域の活動。
- ・配食サービス。
- ・食事サービスボランティア。
- ・地域おこし。
- ・婦人会、地区住協活動。

【問 22】 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。

- ・若い人が定住できる環境作り。
- ・助金の増額。
- ・市役所職員の再教育。
- ・多くの方が働ける場所の充実。

【問 23】 社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことは何ですか。

- ・行政と連携した婚活活動。
- ・病気になるないように予防、健康づくり。
- ・何も期待してない。
- ・市役所をイカせる。
- ・社協の方が良くしてくれてまので感謝はしています。
- ・身近にスーパーの様な店がほしい。

【問 24】 社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことは何ですか。

- ・医療にお金を使わない健康な人づくり。
- ・市役所の職員に責任感を持たせる。
- ・社協自体を一般の人に知ってもらう計画。

【問 25】 あなたは、もし災害などの緊急事態が発生した場合、自分や家族、地域の皆さんが適切に避難できると思いますか。

- ・災害の程度と時間によると思う。
- ・心を平静にして明るく生きる。

- ・避難所が小さい。
- ・道路事情。
- ・地すべり地区である。
- ・移動しない方が安全。
- ・道路の安全が分からない。
- ・どこがくずれるか分からない。
- ・高齢者が多い。

【問 25-①】 あなたは、もし災害などの緊急事態が発生した場合、自分や家族、地域の皆さんが適切に避難できると思いますか。

- ・高齢者が多い。
- ・想定が難しい。
- ・自立の立地場所が悪い。
- ・災害が夜間の場合。・大災害の時(阪神、東日本大震災と同様の大災害が起こった場合)。
- ・自宅で対応可能と判断する。
- ・家族の居場所が違う。
- ・居る場所により不安。
- ・緊急避難体制ができていない。
- ・指定されている避難場所が危険な場所にある。
- ・高齢者が多い。
- ・市役所が無能。
- ・落ち着いて行動が出来るか不安。
- ・地域全体での避難訓練をしていないので実際できるか不安。
- ・一度も訓練されていない。
- ・地区としての情報交換の仕方がわからない。
- ・助け合いがいる方等の話し合いがない。
- ・高齢者世帯や独居世帯が多い。
- ・個人により分からない。
- ・高齢者が多い。
- ・避難所周辺が危ない。
- ・他人の状態把握ができていないので分からない。
- ・時間帯や災害場所、規模により難しい。
- ・その時の状態による。必ず避難できると思う。
- ・山がくずれたら無理かも。
- ・安心できる避難所がない。
- ・避難所までの道が危ない。
- ・避難所も危ない。
- ・自分の事は自分で守る。
- ・休憩斜地のため避難道路が先に崩壊欠壊し孤立する。
- ・急峻な土地で台風は出来るが地震の時は無理。
- ・体力が無い為、助け合えない。
- ・道がなくなって避難できない。

【問 26】 災害の発生に備え、日ごろ話し合いや準備などを行っていますか。

- ・消防団員のため、日頃から計画を立てている。
- ・無災害の家は黄色の旗を玄関前に出す。
- ・家族と連絡方法を決めている。仕事に行ったり、出かけているとわからないが元気な場合はこうして連絡しよう決めている。
- ・上記にかいていることは全て必要かもわかりませんが、その時の災害の、度合で変わってくると思います。
- ・枕元にヘルメット、底の厚い運動靴、外まわりにはラジオ付きライト、一口ガスコンロを初め、その他もろもろ。

【問 27】 あなたの地域の高齢者のうち、災害発生時、避難場所への移動に援助が必要な方がどのくらいいるか把握していますか？

- ・地理的に身動き出来なくなると思う。

【問 28】 あなたは災害時に住民が支えあう地域づくりに何が必要だと思いますか。

- ・自主防災組織がしっかり行われています。
- ・市役所職員の主体的取組。
- ・全住民参加型の集合機会を自治会ごとに企画実践する。

【問 28】 あなたは災害時に住民が支えあう地域づくりに何が必要だと思いますか。

- ・これから増えるだろう買い物難民対策を考える必要がある。
- ・その時の状況に合わせた活動ができるかどうか分からない。
- ・できる限り行いたいと思う。

【三好市社会福祉協議会に対するご意見、ご提案などがございましたらご自由にお書きください。】

(自由記入欄)

- ・みよし市報に時々入っている、社協だよりで情報を得ているが、活動が市民全体に見えていないのでは？
- ・社会福祉協議会の職員がもっと地域に入る活動、地域とつながる活動をやって頂きたい。
- ・ひとり暮らしの方の把握と対策(相談場所か電話相談)実際、相談場所か電話相談先があるが、そこへ相談の助けを求めることが少し困難な方が最近が多くなった。
- ・地区住協の活動に積極的に出ている人(支援を必要としないくらい元気な人が多いのでは?)には活動が見えているが、それからあふれている人たち(支援が最も必要な人達)への支援は見えていない。
- ・地域では昼間はほとんど若い方がおりませんので、災害時が心配です。又、買い物難民も心配です。
- ・急傾斜地崩壊危険地域標柱第 6 号 三縄(2)自助として具体的には安全と思われる地所に移るより他ないのではと思う。
- ・会議や印刷等で訪れた時、いつもみんなキチンと挨拶してくれて、対応も親切で気持ちよい。
- ・気軽なスーパーマーケットの役割。
- ・防災の啓発も含めて、非常時持ち出し袋を全戸に1個ずつ支給してほしい。
- ・高齢化率が高くなっていく我が三好市、これから地域の住民が安心して暮らせる様、社協職員の皆様頑張ってください。お願いします。
- ・地区住協との連携等、地域に根ざした貴社会福祉協議会に敬意を表し、今後共、地域の安全安心に向けたお取り組みをお願いします。
- ・自治連合会長(自主防災会)の方が十分に把握できていないように思う。
- ・不安な人ができてから手助けするよりも、不安な人をつくり出さないように努力することに力を入れてほしいと思います。幸せな人が不幸な人を助けて行くからです。
- ・アンケートの調査結果を教えてください。そして調査結果が福祉活動にどのように活かされているのか教えてください。
- ・地区住協のリーダーは非常に大事な役目を負っていることを地域全体の人がよく理解し選ばなくていけないと思う。そういう啓発運動を住民全員を集めて行う必要があるのではないかと思う。
- ・地域福祉活動の成功は行政の強いリーダーシップだけでなく、各自治会レベルでも議論する必要がある。
- ・これから迎える社会問題に対し、前向きな姿勢で取り組むべきである。私が考える具体的な案は、市民の福祉への教育と各企業がどのような形で福祉に関われるかを提案してもらえる体制作りです。個人的にも協力したいと考えています。
- ・要援護者支援事業の内容を紹介した広報を毎回発行してほしい。本部の活動の様子が不明。
- ・デイサービスを利用したい人がいた時、どう対処してあげてよいか分からない、手続きと経費など三好市危機管理との連携をとる必要があると思います。

- ・老後安心して生活できるような施設を作ってほしい。古くてきたない施設では、老後をおくりたくない。美しいホテルのような誰もが入りたくするような施設を作ってほしい。
- ・現住所での生活が短いので地域の事がよくわからない。高齢でもあり。
- ・災害時の避難場所の確認、避難経路の確認を充実させること。避難訓練を行い災害時に備える事。
- ・あまり良く社協の仕事内容を知らないが、もっと地区に溶け込んでこの地区の社協職員として認知してもらえる様な活動が必要ではないか？組織として形が人化していないか？役所と同じ様に災害時に避難できるかどうかは、日常から何の訓練もしたことがないのに、避難する場所もわからないのに無理だと思う。私の家の前には、1人くらしの80歳を過ぎたおばあさんがいます。少し認知です。その人を私は助けることができません。自分もどうしていいのかわからないのに、足の不自由な老人をどうすることもできません。自身が間近にせまっているこの頃日頃から、話をしたり、訓練をしたりするような、指導をお願いします。
- ・地域福祉支援についての情報提供。地域での支援ネットワークづくり。
- ・すべての事柄の情報の不足を感じます。
- ・活動が見えてこない。社協が何をやっているのかわからないのが、一般市民の印象だと思う。
- ・社会福祉協議会の諸活動に対して感謝します。三好市の地域で幾つかの活動に焦点をあてて実施する方が、社会福祉が浸透するのではないかと思います。例えば、老人対策、地域活動の人材育成、地区住協の活動活発化。
- ・災害時の防災グッズは、各地区の集会所で管理する体制が出来ているのか？道路状況が変わって来るので、1ヶ所での保管は、おかしいのではないか。
- ・特に高齢化の進んでいる三好市においては、このようなアンケートを通じて、地域の実態を十分に把握し、それに応じた対策が急務と思います。本当に助けを必要としている人の意見もパトロール等を通して把握(直接)できるようにしなければならぬと思いますが、身体が不自由で、関係する会合には出席できていないのか実情だと思います。社会福祉協議会の皆様には、地域住民に笑顔のあふれる生活が出来るようご尽力をお願いします。
- ・アンケート集計。解析結果を教えてください。
- ・社協の賛助会員増のため、日頃の社協イベントを通じ、賛助会員の内容等を説明し行事、イベント参加者へアピールして、必要性を理解してもらう努力が必要かと！
- ・三好市役所は、住民のためより、職員のためが優先していると思えない。強大な労組と労組出身の市長は、全く信用できない。
- ・高齢者の福祉には多大の費用と人材を多く必要とする。今限界までできていると思う。これ以上期待はしない高齢者でありたい。教宣も大事だ。(交通弱者、買物弱者、飲料水確保等の生活弱者、etc.)
- ・一般の人が何かをしたいと思っても会場の確保が難しいので誰でも気軽に利用できる場所があるといいですね。高齢になると聞いてタメになる講演でも情報不足で孫に聞く事も多くあり残念に思う事もあります。なるべく身近な所で参加出来ればいいですね。歩いていく人には足の問題も大切です。
- ・高齢者となった夫婦家族であって何事も皆様にお願することです。どうか宜しくお願い致します。
- ・高齢者なので行事等参加したい気持ちはあるが、足腰弱っているもので、参加できない。自分でできる範囲ことは自分でと思っている。年齢は取りたくないが仕方ない。日々頑張るのみ。
- ・社会福祉協議会や市役所の中にある福祉センター、地域包括支援センターの違い・活動内容がよく分からない。
- ・社協の皆さんのご苦勞にはいつも感謝しておりますが、何か近寄りたいたいと知人が言っております。
- ・言いづらいことは会長さんをどんな方が存じあげないからです。何か外部から来ている人かと思うくらいです。
- ・私達高齢者は今の時代申し分のない社会福祉の恩恵を受けたただただ感謝あるのみです。
- ・今後も地域と連携し福祉の向上に共にがんばってほしい。
- ・子供と同居するつもりだから福祉の問題がおそろかになってしまう。
- ・災害発生時に高齢者の避難方法について検討して下さい。
- ・高齢者、子育て支援で思う事(アンケートを見て)豊富な知識を持つ人リーダーの育成が必要と思う。
- ・公民館単位で啓発活動をいくら会合を開いても会に参加する人が決まっておらず、あまり成果が上がっていないもう少し小さく集落単位の勉強会等が出来れば今まで以上に感心も上がると思う。
- ・幅広い福祉活動御苦勞様です。
- ・現在は近所の人困っている事(仕事、相談)など行ってあげているが、自分のこの先近所に手助け

してくれる人が居るかどうか心配。

- ・地区住協のあり方(法的整備も含めて、社協の下請であってはならない組織、代表者)。
- ・社協から差出す文章は、内部文書以外は会長名で出すべきである。
- ・よく頑張っていると思います。
- ・住協リーダーは最も恩恵を得ている公務員のOBに率先垂範をお願いすべき。
- ・いつも大変お世話になっています。これからもよろしくお願いします。
- ・市役所職員及び社協職員共に何事も机上論ではなく地域に出向いて地域の実態を知ることが指導者の最たる公僕である。ボランティア活動に市職員の顔が見えないが、市職員が率先して参加すべきである。
- ・アンケート結果報告を希望する。
- ・一人暮らし老人の日頃からの見守り支援体制の整備充実を図っていただいた。できれば、ネットワーク化してほしい。
- ・高齢者がとても多くなり大変でしょうが移動に車があれば、うれしゅうございます。よろしくお願いいたします。
- ・災害時周りの人に声かけしたりお手伝いもOKだと思うが、最近助けに行つて正直ある程度は個人々の問題だと思うし本人が考えることであろうと思っている。もしそれで亡くなっても仕方ないと思っている。
- ・ともかく人助けも大事であるが、まずは自分の命を大切にしなければならない。
- ・お年寄達が必要とされること、自分のことは自分で、そして笑顔で日々送れることを願っています。
- ・もうすこし皆に知らせる。(社協のことを) ○共同作業を取り入れる。○募金等を行う。
- ・子育てをしている方達が交流したり、学んだりできる機会を作してほしい。
- ・あまり大きくない範囲での協議会活動組織づくり。
- ・地域任せでなく行政指導の基に勉強会の開催を望みます。また、活動拠点の整備(耐震等)。
- ・避難呼びかけの際、避難をあきらめるかの様な事を言い、避難したがる年配者がいますが、そう言った「ごねる」方々は、避難を呼びかける人やその人が次に避難を呼びかけるべき人の命さえも奪いかねないことも周知すべきです。迷いのないテキパキとした避難を心掛けないと逃げ遅れの人数をいたずらに増やすだけだとの認識を広げるべきだと思います。
- ・誰でも出かけて行つてお茶やジュース等低価格で1日中行つてお喋りできる場所があると楽しく1日を過ごせるのでは。また、話しをすることでストレスも溜めることなく1日を過ごせるのではないのでしょうか。
- ・コーヒーや食事はボランティアでやったらどうですか。散歩の途中でも寄れるところがあるといいですね。
- ・社協の仕事はどんな事をしているのか? どんな事を相談すればいいのか? はっきり理解できていません。
- ・職員の方は地域から選べる限り地域のことが解っている人が相談しやすいと思う。
- ・人口減少が現実化された今、住み慣れた地域で住めるのか? 自治体も消滅しそうで毎日不安。
- ・色々な情報が一部のみにしか伝わっていないため、正確な情報がより多くの人に伝わる仕組みを作ること。